広報まにわ
2007 8
第28号
賑(にぎ)わいと安らぎの杜(もり)の都 真庭

主な記事

■農業 苦しいか 楽しいか P2～
■お知らせワイド版 P16～
■市政トピックス P24～
■読者の広場 P28～
■ぐるっと真庭まちの話題 P34～

農家のおばちゃんは、よう働く。
「カメムシにやられたらいけんけー
畦草(あぜくさ)は、きれいに刈らにゃーなー」
草刈りだって、
農家のおばちゃんには当たり前。
今年もきっと豊作じゃあ。

鎌(かま)で畦草(あぜくさ)を刈り、背負って運んでいた時代がありました。そのうち一輪車(ネコ車)が出現。ゴム付きタイヤは、でこぼこ道でも狭い道でもすいすいと進みます。今では、草はエンジン付きの刈り払い機で刈るのが当たり前の時代に変わりました。

農業本来の魅力を探る

農業 苦しいか(くる) 楽しいか(たの)

わたしたち人間が生きていくために必要な食料を生産する農業。その大切な農業が現在、厳しい時代を迎えています。農業を続けていくことは、苦しいことだけなのでしょうか。近代の農業がどのような変遷をたどったのか、真庭市農業委員会の西山一男さん（木山）に、ご自身の経験を元に話を伺いました。

食糧難の克服

昭和11年生まれの西山さん。子どものころに戦争が始まり、お父さんが戦場に出向いたため、懸命に農作業をしているお母さんの手助けをしました。生きていくために子どもでも農業を手伝う、当時当たり前のことでした。9歳のときに終戦。「食糧難でした。農家であっても米は食えない、毎日カボチャやジャガイモばかり。でも食べるものがあっただけいい。白い一杯のご飯に、何ともいえない幸せを感じた」と食糧難の時代を熱く語ってくれました。

戦後は、何とか食糧難を克服しようと国を挙げて農業に勤しみ、米や野菜を作って、昭和30年ごろまでには、なんとか食糧難を克服しました。農家には食料があるということで、嫁いでくる女性も多かったとか。このころは一世帯で5反ほどの米を作れば、人並みの暮らしができたそうです。

経済成長と農業離れ

ところが、食糧難を克服すると人々は豊かさを求めるようになりました。そこに高度経済成長期を迎えたのです。欧米の豊かさを手本とした経済成長は、食文化にも大きな影響を与えました。食生活の欧米化が進み、米の消費量を減らす大きな原因となったのです。

また、農業も大きく変動しました。農業機械の普及、著しい栽培技術・

真庭市農業委員会会長
西山一男さん（木山）

農薬の進歩や品種改良。米の収穫量は増え、消費量に対して完全な過剰生産となり、米は大量に余り始めました。そこで、国が投じたのが減反政策でした。米の生産を抑制するため、米作農家に作付面積の削減が要求されたのです。減反の目標面積は、どんどん増えていきました。

空前の経済成長は産業構造も大きく変化させました。農業などの第一次産業の従事者は年々減っていったのです。追い打ちをかけるように米価は下がり、専業農家の生産意欲は失せ、多くの方が兼業農家へと移行していきました。「農家の長男でも、会社勤め。百姓離れは著しかったなぁ」と当時を振り返ります。このように会社勤めや都会に出て行く若者が増え、農業離れが深刻化してくると田畑を維持することが難しくなってきたのでした。

生活は向上したが…

生活水準が上がってくると、世帯の形態も変わってきました。農村に見られた大家族は減少し、核家族が増えました。マイホームへの関心も高まり、農地が次々と宅地へと転用され、農地は激減しました。現在、農業委員会においても、農地転用に関わる議題が、多くを占めるそうです。

先祖から受け継いだ農地を守り耕そうとする意欲はあるものの、農業者の高齢化が進み、耕作放棄地が年々増加しているのが現状です。

価格の低迷、重労働、いつしか農業につきまとうイメージは暗いものばかりになってしまいました。

最後に本当に農業に明るい未来はないのでしょうかと西山さんに問うと、遠くを眺めながら「消費者が変わってきている。価格は二の次で、より安全・安心なものを求めてきているのではないか。わたしも含め、これからの農業のあり方を考えていく必要がある」と語ってくれました。

このことは、農業にとっては小さな小さな光かもしれません。だけど、農業にこれからの可能性がまったくないわけではないのです。

●

少しのことでは揺るがない骨太な農業、しっかりと根を張った農業はないのでしょうか。農業の魅力を教えてくれる人を求めて、市内を歩いてみました。きっと新しい発見があるはずです。次のページをご覧ください。

■米の作付面積および反当たりの収穫量の移り変わり

■3部門別　15歳以上就業者人口比率

■経営耕地面積の移り変わり

（資料：農業センサス）

牛を使っての田おこし（樫西地区：昭和33年）
農家には、牛はなくてはならないものでした

培ってきた
農業の礎

真庭市内には、農家として力強く頑張ってきた人がたくさんいます。農業経営を軌道に乗せるため、幾度となく壁を越えてきた先駆者たち。一体どのような「こだわり」を持って、農業を営んでいるのでしょうか。農業の明るい未来をつくるヒントを探そうと、先駆者たちを訪ねました。

有機無農薬の米づくり
「アイガモ米」は心も体も、地域も元気にします。

有機無農薬だからこそできる

パパラギ農園有限会社

三船進太郎さん（蒜山下和（しもお））は、20年以上前から水稲の有機無農薬栽培に取り組んでいます。話を伺うと「都会に住んでみて、環境の違いを肌で感じ、何より自分が安心して食べることのできるものを作ろうと考えたのです」と。そうして始めた有機無農薬栽培は、アイガモ農法の導入を機に順調に規模を拡大し、平成16年には『パパラギ農園有限会社』を設立。地域の理解も徐々に深まり、現在は管理作業などを米づくりの仲間に手助けされ、経営面積を約10ヘクタールにまで拡大しました。通常の半分といわれる収穫量も7割程度を維持しています。農薬を使わないから環境や体にやさしいというだけでなく、水を多く張ることによって、微生物や小動物の多い豊かな環境を作ることができるという特徴も持っているアイガモ農法。この取り組みが評価され、昨年、第11回環境保全型農業推進コンクールで農林水産大臣賞を受賞しました。

「消費者の信用を得るために、『食の安全・安心』『環境保護』『景観保全』など、今の農業には多くのことが求められています。生産者としてこれらをクリアしていくのは当然ですが、何より、『地域と共に生き、好きな農業を営み、作ったものが消費者に喜ばれる』そういう経営を次の代に引き継ぎたいのです。そして、それができるのが有機無農薬栽培だと信じています」と目を輝かせ、また、「都会にいたころは、子どもができず悩んだこともあったんですが、地元に帰って3年後に娘を、そしてその5年後に息子を授かりました。これも環境について考えるきっかけになりました」と述べ、ご自身の経験が、有機無農薬に取り組む原動力になっているようです。

最後に、「今、緑肥（りょくひ）作物を利用した除草技術を研究しているんですよ」と話してくれました。三船さんの向上心は尽きることがありません。

▲アイガモを抱いて笑顔の三船進太郎さん

◀イラストが可愛い米袋。三船さんの米は、有機米を多く扱う出荷先でも高い評価を得ています。

▼雑草だけでは栄養が偏るため、自家製の飼料を与えます。雑草の多い場所に撒くことで、その部分の雑草を重点的に食べさせることができます。

作業量が多いからといってほ場を減らすのでなく、作業量を減らして、ほ場面積を維持・拡大するのです。

「楽」が経営を前に進める

JAまにわトマト部会

蒜山西茅部の石原誉男さんは、現在14棟のビニールハウス（36アール）で大玉トマトを栽培しています。

「父親が、昭和51年に転作作物として導入したのが始まりです。わたしは会社勤めだったのですが、父も年をとって作業が難しくなってきたため、後を継ぐことにしました」

石原さんが農業を始めてから常に思い、実践していること、それは「省力化」と「効率化」です。勤めの傍ら、作業を手伝う中で、いつも、「ここを効率よくできないか」「あの作業を省略できないか」などと考えていました。父親の経営に口を挟むことはしませんでしたが、経営を任されてからは、それまで感じていたことを実践していきます。毎日の作業である水分・栄養管理では、養分を混ぜた水を、必要なだけ、決められた時間に自動的に与える溶液土耕や、受粉作業を行ってくれるマルハナバチを導入することで、作業時間の大幅な削減だけでなく、経費の大幅な節約を実現しています。

「とにかく楽をしたかっただけです（笑）」と、謙虚に語る石原さんですが、「楽にならなければ次を考えることができません」とも。

終始穏やかに、そして謙虚に語る石原さんの瞳の奥に、経営者としての厳しい目を垣間見ました。

トマトの茎を斜め誘引する石原誉男さん

養分を混ぜた水を必要なだけ決められた時間に自動的に与える溶液土耕（左）、受粉作業を行ってくれるマルハナバチ（右）

一台のコンバイン購入が地区の農業の形を変えました。小さな地区でも可能性はあります。

中山間こそ農地集積で集落営農化に

釘貫集落営農組合

湯原の釘貫地区では、今年の3月「釘貫集落営農」が発足。代表の渡邊強志さん（社）を訪ねました。

釘貫地区は中央に釘貫川が流れ、その両斜面に水田の広がる典型的な中山間地形です。地区の16戸では、耕地面積約10ヘクタールで中山間直接支払制度の協定が結ばれています。その中山間の事業で、1台のコンバインを購入したことが集落営農を始めるきっかけとなりました。「オペレーターとしてコンバインを運転していたこともあり、この地区の水田約4ヘクタールなら1台のコンバインで十分刈り取れます」と渡邊さん。地区のほとんどの方が稲の刈り取りは業者などに委託していることもあり、これからの地区を考えて出した答えが集落営農への道でした。稲の刈り取りだけでなく、ヘリコプターを使った共同防除（消毒）や、畦や水田の間の斜面に生えた草を一斉に刈り取る作業を行っています。地区の協力があるからこそ、成り立っているのです。

「集落営農といっても、まだ始まったばかり。でも、小さな地域なので、ある程度の機械とオペレーターがいれば、耕地は守ることができます。田植え作業や、転作田には『青大豆』などもやりたいですね」と最後に意気込みを話してくれました。小さな地区にも、新たな農業の形の輝きが見えました。

ヘリコプターによる消毒（業者委託）

急傾斜の多い水田。
「きれいに刈り取りましたよ」と代表の渡邊強志さん▶

ほ場でナスを収穫する、おかやま久世有機の会 会長の矢谷勝彦さん（五反）

有機栽培のナス作り、相手は「コープこうべ」という巨大な市場です。

こだわりの野菜を組合一丸で

おかやま久世有機の会

久世地区でナスの有機減農薬栽培をしている「おかやま久世有機の会」会長の矢谷勝彦さん（五反）にお話を伺いました。

以前は個人で野菜を作っていたという矢谷さん。個人での限界を感じ、同じ思いを持つ7人で生産組合を設立し、こだわりのナスを作り始めました。そんなときに「コープこうべ」から取引の打診があり、組合員の意欲が高まりました。取引が始まって2年目には、コープこうべの中でも特別農産物として基準の厳しい「フードプラン」に挑戦。「低農薬で、使える肥料も限られます。でも、どうせ作るのなら良いものをと、会が結束しました」と。しかし、それは決して簡単なことではありませんでした。先進地視察や研修を受け、がむしゃらに有機栽培に取り組んだそうです。また、神戸という巨大市場に多くのナスを送り出すために組合員を募り、生産量を増やしてきました。

さらに、コープこうべの会員との交流事業を積極的に行い、生産者と消費者の顔が見える信頼関係を作ることにも力を注いできました。そのため、コープこうべからの信頼は厚く、生産者も期待を裏切らない作物を作ろうと一生懸命です。

最後に矢谷さんは、「会には、若い新規就農者もいます。本当にやる気があるのであれば、技術の提供も惜しみません」と力強く話してくださいました。

久世のほ場を見学するコープこうべの会員（ナスの定植作業）

広大なほ場で、農作業の効率化や農業生産コストの低減を目指す集落営農を展開しています。

役割分担して効率的な農業経営を

農事組合法人 寄江原（よりえばら）

落合の鹿田地区で集落営農組織を法人化した「農事組合法人寄江原」組合長の森 安晴さん（下方）を訪ねました。「寄江原」の構成戸数は73戸、26ヘクタールの耕地を集積し、ほ場整備された大区画のほ場で、平成13年から集落営農を展開しています。水稲における田植えや稲の刈り取りなどの作業受託はもちろん、転作田には土地利用権を設定し、白大豆を栽培しています。

農機具庫の中には、大型の農業機械が並んでいました。「各戸で所有する農機具費を合算すると、この地域だけで約3億円、この大型機械と機具庫を合わせても10分の1以下の金額で購入できました」と機械を紹介。大型機械を操作するオペレーターは約15人います。

組合員は大型機械の作業は「法人

寄江原」に、組合員自身ができることは自分たちで、というように役割分担ができていて、効率の良い農作業を行っています。また、11ヘクタールもの大豆の栽培は「法人寄江原」が経営し、大型機械を活用して低コストでの栽培を実現しています。

国の農業政策にのって営農組合を法人化した意義を聞くと「これからも支援を受けていくには、営農組合をより多様化した、法人化が必要でした。農地や自然環境を維持しつつ、農業は『明るい』と次世代にも感じてもらえるためにも…。これからは地域が協力して担い手の育成などを考えていかなければ」と今後のことも含めて語っていただきました。

個人という枠を越えて、農地の有効利用と農業経営の改善を本格的に進めている地区があります。

大規模なほ場整備による耕地が広がります

▲トラクター、田植機、コンバイン、播種機（はしゅき）など大型の機械が並ぶ農機具庫

▶播種機に乗って大豆の種まきの作業をする、農事組合法人 寄江原 組合長の森 安晴さん（下方）。大型機械の利用で、作業時間を短縮し、経費も減らします

ブドウの手入れをする農事組合法人 清藤 代表の奥田信介さん（下呰部）

栽培から販売まで、こういう時代だからこそ、生産者の顔が見える、安心の清藤スタイル。

オリジナリティーを活かして

農事組合法人 清藤

北房地域で果樹栽培に取り組む「農事組合法人 清藤」代表の奥田信介さん（下呰部）を訪ねました。

清藤は平成5年に地元8人のほ場をほ場整備で1カ所にまとめ、転作作物として果樹団地を整備したのが始まり。現在では、約3ヘクタール超の果樹園にさまざまな品種のナシとブドウを栽培しています。「最近は腹いっぱい食べる時代ではありません。少しでも、おいしいものを食べる時代だから」と手がかかっても品質の良いものを届けたいと大忙しの毎日です。

収穫の時期になると生産から、主体が販売となります。「清藤の名前が少しでも印象に残るように」と生産量の多い法人の利点を活かして、独自のキャラクターや個性的な商品名を商標登録して、ほかとの差別化を図ったり、大きさの違う箱を作り消費者のニーズに柔軟に対応できるように工夫したりしています。

「ナシの味が良くなるのに20年、若い樹は、まだまだこれからが楽しみ」と30年計画で基盤を整備中です。現在の8人体制を10人体制にするため、ニューファーマーの受け入れも積極的に行っています。

果樹栽培は10年たってやっと一人前。実は10回しか経験できないのが難しいところなのです。「忘れられない味を作るのが目標です」と話す奥田さんでも、実際は思うようにはいかないのが現状。それが農業の面白さなのかもしれません。

▲愛宕ナシと蒜山のヤマブドウをかけ合わした清藤オリジナルのジュース（左）とワイン（右）

◀毎年たくさんの視察が訪れます

農業を学べる
充実環境

真庭市内を見てみると、子どもから大人までが農業を学ぶことができる場所や環境が整っています。農業を指導される方や農業を学んでいる方に、お話を伺いました。

LESSON❶

中和小学校

最近はどこの学校でも行われている農業体験。今年度、岡山県の農業教育の支援事業を受けている中和小学校の様子をお伝えします。子どもたちは、楽しく農業と農業にまつわる生活を学んでいます。

中和小学校で、農業体験など指導されている蒜山吉田にお住まいの渡邉重壽さんと中沢信子さんに話を伺いました。小学校では、田植えや稲刈り、もちつき、わらを利用しての正月飾り、加えて畑ではサツマイモなどを育てています。そして、作業の要所で、地域の皆さんと活動を共にして交流を深めています。

92歳の渡邉さんは、ご自身が子どものころから学校で田植えや稲刈りの作業があり、その準備などは地域の方々がしてくれたことなど、懐かしい思い出話をしてくださいました。「ひ孫のような子どもたちに、わたしが子どものころに地域から受けた恩返しをしたい。農業を通した生活を今の子どもたちに伝えたい」と話され、地域が子どもを育てることの大切さを感じました。

また、渡邉さんと一緒に指導に当たっている中沢さん。「昔は野いちごができれば山に入ってとり、時期ごとに収穫した農産物を食べてきました。今は、すべてをお店で買っているのではないでしょうか。この地で生産して収穫したものが、より安全でおいしい、ということを知ってほしい」と、子どもたちに、この地域を愛する気持ち忘れてほしくないと願っています。

地域にはまだまだ、農業に関わる指導者がいます。地域と学校のつながりの深さが、二人のお話から伝わってきました。

取材のあとで小学校に行くと、子どもたちは学校田の草取りをしていました。はだしで田んぼに入って、楽しく活動する姿は、農業の明るい将来が見えてくるようです。

田うえ

小谷萌花（2年）

田んぼにカエルがケロケロ。
田んぼの土はドロドロ。
今日は天気がポッカポカ。
田んぼにはいった
ベチャベチャだ。
ポチャンポチャンと
なえうえた。
川がジャージャー
ながれてた。
友だちワーワーたのしそう。
みんなとワッハハ。
たのしかった。
田うえはたのしい
たのしい時間だよ。

渡邉重壽さん（左）と中沢信子さん（右）

正月飾りをみんなで作ります

一列に並び苗を植えました

LESSON❷

久世高校

農業高校として多くの生徒が農業の基礎知識を学んだ岡山県立久世高等学校。現在、生物生産科・食品科学科・家政科があり、農業や食品製造などについて学ぶことができます。生徒たちが、どのようなことを学んでいるか、生物生産科を訪ねました。

野菜の苗は地域の皆さんに高い人気を得ています

地域と生徒の交流の場となる「ふれあい市」

6月2日、生物生産科3年生の農業実習に伺いました。実習は野菜、草花、畜産など5班、1グループ5、6人に分かれて行います。ハウスの中をのぞいてみるとメロンを栽培しており、生徒たちは茎を枝分かれさせるための「摘芯（てきしん）」の作業などをしていました。

その中の一人、岡野千草さん（下写真右）に、お話を聞きました。これまでの農業の経験は祖父母の田んぼの稲刈りを手伝ったことがある程度。農作業は嫌いでないそうです。「いろんな作物の作り方を学べて楽しいです。このことが将来に何か役立てばいいけど」と実習の感想を述べてくれました。岡野さんの将来の夢は介護士になること。福祉の仕事をしながら、介護の必要な人と小さな農園で作物を作りたいそうです。農業の「癒し」の部分に岡野さんは気付いたのかもしれません。

温室ハウスが建ち並ぶ
高校の敷地内

メロンの摘心作業を指導する教諭の宮阪淳司さんと生物生産科3年生の岡野千草さん（草加部）

また、指導している宮阪淳司教諭にお話を伺いました。「人の生活に一番大切な食料生産。土に触れ、みんなで作る喜びを感じてほしい」と、まず農業の楽しさを知ることを願っています。

しかし、農業で大切なのは経営です。そこで久世高校が取り組んでいるのが、月一回行われる「ふれあい市」。生徒たちは、ただ農産物を作るだけではなく、先には消費者がいること知ります。地域の人と触れ合うとともに、どのような農作物を作れば買ってもらえるのか考えるようになります。花や農作物を作る喜び、買ってくれる人がいる喜びという農業本来の魅力を肌で感じているのでした。

また、牛ふんを活用した堆肥を使用するバイオマスの有効活用実験も手がけてる久世高校。「卒業後、農業で生きていく生徒は少ないかもしれません。しかし、土と親しみ花や農産物を手がけるうち、循環社会の中で、より健康で安全な生き方を身に付けてくれるでしょう」と農業を学べる久世高校の役割を語ってくれました。生徒たちは農業の持つ「優しさ」を胸に社会に羽ばたきます。

LESSON③

企業組合 蒜山グリーンフィット

昔は「後継者」＝「家業を継ぐ者」でしたが、近年の後継者不足などで少し様子が変わってきています。蒜山地区では、農業と関係のなかった若者が、農業を学び、地域に根ざした農業経営を行う「地域の後継者」を育成するための取り組みが行われています。

最近、やっと楽しいと思えるようになってきました。と素直に話す入澤靖昭さん

蒜山地区で後継者育成のための新たな取り組みが行われていると聞き、企業組合蒜山グリーンフィット理事長の入澤靖昭さん（蒜山下長田）を訪ねました。

蒜山グリーンフィットは、主な事業として体験農園・直売所・インショップ（量販店の中に入っている直売所）を展開。体験農園では、自分たちが作りたいものを実際に作り、技術の向上を目指します。「昨年はミニトマトなどを市場に出荷し、手応えを感じました。今年は収穫体験ツアーの受け入れを行います」と意欲ある言葉。また、直売所では地元生産者が作った野菜を販売。生産者・消費者と直接対話することで双方の考え方やニーズなどを肌で感じ、また商品を売ることの難しさを痛感しています。インショップでは地元産品のPRはもちろん、市場流通の仕組みなどについても学んでいます。

とにかくゼロからのスタートで、一度に多くのことを学ばなければならず、落ち込んだこともあったようですが、「3年目にして、やっと周りが見えるようになってきました。今後は事業の充実を図りたいです」直売所を充実させるための、地域の生産者への声掛けや、収穫体験参加者が訪れて満足できる施設の整備など、今後取り組むべき課題は多いようです。

一方で「一部の作業受託を進めたい」とも。機械を使う作業や体力的に厳しい作業など、技術はあっても高齢化などにより作業が困難な人の作業を受託し、できるだけおいしい米や野菜を作り続けることができる環境をつくろうと考えています。

「わたしたちは、後継ぎ型の後継者ではありませんから個々の経営を盛り上げることはできません。しかし地域の後継者として、生産者と協力し、支え合いながら地域を盛り上げていくことはできると思っています。年を重ねても、生産者一人ひとりが輝けるような地域がすばらしいじゃないですか」と照れくさそうに話してくれました。

写真右上メンバー紹介　左から長綱宏明さん、曽根田健一さん、入澤靖昭さん、脇田益寿さん、古土居篤史さん

今後の展開が期待される収穫体験

新鮮野菜が並ぶ「ふるさとふれあい特産館」

量販店に並べられた蒜山野菜

LESSON 4

真庭いきいき帰農塾

真庭市では中高年の方を対象とした「真庭いきいき帰農塾」を開催しています。果樹や野菜などのコースを準備し、新たに農業を始めたい、栽培技術を習得したい方が参加して、農業を学んでいます。

ピオーネの芽かき作業をする受講者、実習と講義で農業を学びます

「真庭いきいき帰農塾」は、果樹や野菜などの育て方を年間8回程度の講義と実習で学ぶもので、今年で3年目を迎えました。

初年度から参加している伏見全史（まさふみ）さん（久世）にお話を伺うと、「『真庭いきいき帰農塾』という名前の響きがよかったんですよ」が最初の言葉でした。

伏見さんは、真庭市誕生の1年前に定年退職しました。昔から野菜栽培が好きで、百坪ほどの畑で野菜を育ててきました。第2の人生の楽しみとして農業に力を入れてみようかと思っていた矢先に、帰農塾生の募集が目に留まったのです。

「1年目は開催回数が少なかったのでいまひとつでしたが、昨年は開催の5月から12月まで、ナスなどの野菜に実際に触りながら講義や実習をしてきたので勉強になりました」とうれしそうに話されます。

農業 苦しいか楽しいか

●農業を学べる充実環境

帰農塾では年間の講義などの回数は限られており、農業のすべてを学べるというものではありません。しかし、伏見さんは「最初は農作物の栽培方法だけを学ぶと思っていたのですが、農業機械の使い方や、農地の貸借などの農地法、農業支援制度など、農業を営むうえで大切なことを学び驚きました」と述べてくれました。

家から少し離れた畑では、トマト、キュウリ、ズッキーニなどさまざまな野菜が育っていました。畑の管理は、除草剤は使わず雑草は手で抜き、肥料は近くの酪農家の堆肥を利用するなど有機無農薬栽培。取材時には、りっぱなスイカも熟（う）れていました（左写真）。

農産物の出荷を学ぶため大根の選果場を見学

伏見さんの夢は、自分の作った野菜を売り出すこと。「実習で直売所の見学をして、出荷を考えるようになりました。小さな畑からでも可能性があるような気がします」と希望を込めた言葉を語ってくれました。

自分で作った野菜を毎日食べて、元気に「いきいき」と過ごされている伏見さん。真庭いきいき帰農塾で学んだ知識を基に、退職後の時間を有効に活用されています。

帰農塾で学び、ご自身の菜園でスイカを収穫した伏見全史さん（久世）

やっぱり

季節の移り変わりを感じる生き方を

この春から、農業を営んでいる木村夫妻を訪ねました。

木村仁子さん(蒜山中福田)は、元小学校の先生。小学校の教員として勤め始めたとき、蒜山に住む祖母の岡田茂子さんと生活を始めました。巡り来る季節の中、仕事の合間に手伝った田植えや稲刈り。農業の楽しさを理解すると同時に、この田んぼは、この先、誰がどうやって維持するかという不安も。そこに、退職後は蒜山で暮らそうと考えていた茂子さんの娘であり、仁子さんのお母さんが重い病気にかかったのです。「いち早く農業を学びたい。わたしが農地を守らなければ」という思いが日々募り、教員を辞めて長野県の八ヶ岳農業実践大学校で学ぶことを決意。大学校では広大な試験農場で稲作を経験し、2年目は、大学校の職員として小中高生の農林体験を指導しました。「毎日、田んぼに行って、毎日その変化を見てきました」と一年間の流れを生き生きと語ってくれました。そんな中、同じように職員として勤めていた政彦さんと出会ったのです。

ご主人の政彦さんは、この大学校を卒業し、青年海外協力隊として海外で農業指導をした経験を持っています。「就農したくて各地のニューファーマー制度に申し込みましたが、独身では無理のようでした」と若かったころの話をしてくれました。実家が農業をしていないため、就農を願っても、それを叶えるのは難しかったようです。

仁子さんと出会い、お互いの農業に対する思いをとことん話し合った結果出した結論は、「農業をしたいという思いがあるのなら『いつか』ではなく『今』」ということ。そして、3月から蒜山での生活が始まりました。

「帰って来てほしいと頼んだわけではないので、驚きました」と話す祖母の茂子さんも農業一筋に生きてきた人です。うれしそうな表情が印象的でした。

二人の間に授かった銀志くんの世話をしながら「勤めているときと違って、日々、季節の移り変わりを感じることができるようになりました」と仁子さん。

「今年は試行錯誤の年」と、二人はこの蒜山で自分たちのやりたいと思う農業の形を見い出そうとしています。

きっと天国のお母さんも応援していることでしょう。

右から
平泉浩美さん
繁さん
秋さん
夏さん
愛犬のハル

楽しい

試行錯誤することを楽しんでいます

大阪府守口市から北房へ就農して10年目を迎える平泉繁さん(下呰部)を農事組合法人清藤に訪ねました。

以前はコンピューターメーカーのシステムエンジニアとして働いていたという繁さん。「何かが違っていたんです。これが自分の生きる道なのかどうか」と。今まで、周りの人が望んでいる生き方を選んでいる自分に気づいた繁さんに、人生を変える出会いは偶然やって来ました。それは書店で出会った一冊の雑誌「田舎暮らしの本」。そこに岡山県の新規就農者募集の記事があったのです。これまでのもやもやした気持ちもあり、ご本人としては異例の速さで決断。岡山県庁に問い合わせ、新規就農者の受け入れ先を視察している中で清藤を知ります。「今でも忘れません。農業は個人でするものとばかり思っていましたから、共同経営に参画できるということに衝撃を覚えました」と清藤に大きな可能性を抱いて就農を決意。家族4人で期待と夢を抱きつつ北房へ移住してきました。初めての田舎暮らしと果物作りに、戸惑いながらも少しずつでも着実に夢に向かう日々。

10年目を迎えてどうですかと問うと、「生き物は一つひとつ違います。相手は植物、自分の都合で作業をしてもうまくいきません。生き物であるナシやブドウが、どんな状態か見抜く力がまだまだ」と試行錯誤を繰り返しているという横顔には、挑戦意欲がみなぎっていました。

「これ考えたんですよ。どうやったら皆さんに親しんでもらえるか」と話ながら事務所の中に並ぶ、オリジナルキャラクター入りの発送用の箱や、かわいらしい名前の付いた加工品を紹介していただいた。企業に勤めていたころの抜群の企画力や発想センスは、清藤でも健在です。得意のコンピュータを利用して、ホームページ作りやパソコン教室を開いて地域にもとけ込んでいるようです。

奥さんの浩美さんに今の感想を聞くと「田舎暮らしは、わたしも賛成でした。北房に来たときには幼かった子どもも、この環境の中で素直に育ってくれています」と家族みんなの笑顔。そんな、家族を引っ張る繁さんが今、夢中になっているのは「作曲」。「清藤の歌を作ってからはまってるんですよ」と本当にうれしそうに話してくれました。これからも「清藤」から楽しいことが起こりそうです。

長い長い
年月をかけて
守ってきた
この風景

人が
手を入れるからこそ
美しい

美甘の湯谷地区

新規就農・営農相談は

アグリセールスマンへ

生産者、行政、農業団体（農協）の間を取り持つアグリセールスマンを真庭市は任命しています。営農相談、就農相談をはじめ、遊休農地・空き家の調査を行います。各地区のアグリセールスマンを紹介します。（敬称略）

川上地区
池田輝義
（蒜山西茅部）

八束地区
美甘照夫
（蒜山上長田）

中和地区
池本　彰
（蒜山吉田）

湯原地区
小椋貫治
（田羽根）

美甘地区
西村和仁
（新庄村）

勝山地区
岩田祥明
（山久世）

久世地区
和田訓尚
（久世）

落合地区
難波　浩
（下方）

北房地区
柴床博仁
（宮地）

※詳しくは農業振興課（TEL 0867-42-1031）まで

生涯学習フェスティバル・inまにわ 運営ボランティアを募集します

企画観光部 生涯学習課 TEL0867(44)7301

岡山県で第19回全国生涯学習フェスティバルが行われます。この大会は、あらゆる世代の人たちが、学ぶ楽しさや大切さを感じることで学びの輪を広げていく全国規模の参加・体験型のイベントです。真庭市では、11月2日(金)～4日(日)まで、だれでも気軽に楽しく参加・交流ができるイベントを予定しています。そこで、運営に協力してくださるボランティアを募集します。

開催内容

『ふれあいフェスティバル』
場所　勝山文化センター
開催日　11月2日(金)～4日(日)
内容　音楽・展示・体験ブースほか

『なつかしの木造校舎遷喬物語』
場所　旧遷喬尋常小学校
開催日　11月4日(日)
内容　川柳・昔の遊び・音楽・給食など

『全国キンボール大会inまにわ』
場所　白梅総合体育館
開催日　11月4日(日)
内容　キンボールの大会

ボランティアの活動日

11月3日(土)、4日(日)
※1日だけでの参加でも構いません。事前打ち合わせのため、これ以外の日に活動がある場合もあります。

活動場所

勝山文化センター・旧遷喬尋常小学校・白梅総合体育館など

◀生涯学習フェスティバルのマスコット、マナビーです。ももっちとともに頑張りますので、皆さんのご協力よろしくお願いします。

活動内容・募集人数

①映像ボランティア：2名（フェスティバルの様子を撮影）
②ポンテホール・ステージ運営：約6名
③総合受付：2名
④県主催スタンプラリー受付：2名
⑤のれんスタンプラリー受付：2名
⑥木工教室補助：1名
⑦アレンジ教室補助：1名
⑧子ども体験ブース補助：約8名
⑨読み聞かせコーナー：若干名（読み聞かせをする個人・グループ）
⑩駐車場整理：若干名

募集期間

8月30日(木)まで
※募集人数に達した場合は終了します。

そのほか

事前研修、活動を含め無償ボランティアとし、交通費も自己負担となります。募集要項は、振興局及び各支局の総務振興課、または生涯学習課に置いています。

市有財産売却のお知らせ

総務部 管財課　TEL 0867-44-2618

売却物件の購入を希望される方は、市有財産売却応募要項（管財課・湯原支局）をご確認のうえ、要項に添付してある申込書を期限までに提出してください。

一般競争入札申し込み

受付期間　7月31日(火)～8日13日(月)
受付場所　総務部管財課（勝山庁舎）

現地説明会

希望者は湯原支局総務振興課までご相談ください。

入札日　8月21日(火)　午前11時　勝山庁舎

※申し込み、入札方法・契約に関することは総務部管財課（TEL0867(44)2618まで。物件に関することは湯原支局総務振興課（TEL0867(62)2011）までお問い合わせください。必ず現地を確認して申し込みください。

物件番号	1　湯原憩の家
土地	所在：真庭市豊栄1424番1、1424番8、1425番4、1426番2　地目：宅地 地積：4,661.61平方㍍（実測）
建物	住居表示：真庭市豊栄1424番1　構造：鉄筋コンクリート造5階建　種類：保養所　延床面積：2,134.96平方㍍（公簿）
工作物	土地、建物に付属する工作物、樹木など、定着物一式
予定価格	48,947,000円

介護予防のために

健康福祉部 子育て健康推進課
TEL 0867(52)1115

65歳以上の方は基本健診で老化をチェック

平成18年度より、基本健康診査の項目に、危険な老化のサインである「生活機能低下」を早く見つけるための内容が加わりました。いつまでも自分らしく輝いているために、体の健康度だけでなく、危険な老化のサインを早く見つけて予防しましょう。

まず、基本健診を受けましょう。その健診結果や生活機能評価の結果により、危険な老化のサインが見つかった方へ、次のように予防事業をご案内します。

①事業内容　運動器の機能向上通所事業（足腰を丈夫にし、活動しやすくするため、主に体操や運動を行う通所サービス）や栄養士による食事相談、保健師・看護師の訪問など個別にご案内します。

②実施場所　真庭市と契約を取り交わしている市内通所施設などで行います。

③実施時期　基本健康診査を受診後、約2カ月で該当者が決定しますので、その後、事業をご案内します。

体操や運動などを行う通所サービスの様子

まず、基本健康診査を受けることから

期間　10月31日㈬まで
場所　市内医療機関（真庭市保健だよりP29, 30参照）
対象　40歳以上
料金　2,400円（70歳以上の人は無料）
内容　身体計測、血圧測定、尿検査、心電図
　　血液検査、内科診察
※65歳以上の人は、「生活機能評価」を実施。
持参品　健康手帳、健診結果ファイル、「19年度各種検診名前シール」※65歳以上の方は、日常生活についての調査「基本チェックリスト」を事前に記入してから受診してください。

男

おとこみがきこうざ

磨き講座

マジック、テーブルマナー、カヌー

どんなに魅力ある男性も磨かなければ光りません。人にはできないことをさりげなくできたら、女性から魅力的に映るかもしれません。人とは少し違う魅力的な男を目指して、自分を磨いてみませんか？

申込締切 8／20(月)

申し込み先　まにわ縁結び推進委員会事務局　企画観光部企画政策課内
TEL 0867(44)2639

①テーブルマナー　8月24日㈮　午後7時～9時
　真庭リバーサイドホテル
②カヌー　9月1日㈯　午前9時～午後3時　北房B&G海洋センター（予備日　9月15日㈯、22日㈯）
③マジック（手品）　10月2日㈫　午後7時～9時
　勝山文化センター　講師：西洋奇術倶楽部

参加対象者　市内在住の独身男性
参加料　1人6千円（3回講座分）

カヌー講座についての注意事項
カヌー講座については、北房ダムを利用して講座を行います。参加者が用意する物は海水パンツまたは半ズボン、タオル、飲料水、サンダル、Tシャツ、帽子、着替えなどです。カヌーの数も限られており、1回の講座で、8人が限度となります。講座参加者が多数の場合は、2回に分けてカヌー講座を開催します。

コミュニティ助成事業を募集

企画観光部　企画政策課　TEL0867(44)2639

(財)自治総合センターが、平成20年度コミュニティ助成事業を募集しています。この助成事業は、住民の行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業として、コミュニティ活動に助成を行うものです。

助成対象事業
平成20年度の10月以降に行われる下記の事業が対象となります。

助成対象団体
助成対象は、自治会などの地域的な共同活動を行っている団体またはその連合体とし、次のいずれかの定義を満たした場合に応募できます。
①小学校区
②大字単位
③地域の人口がおおむね380人
④地域の世帯がおおむね120世帯
※宗教団体、営利団体、公益法人、趣味の愛好会、そのほか、その活動が地域に密着しているとはいい難い団体などは対象外となります。

受付期間
平成19年9月10日(月)まで

受付・問い合わせ先
蒜山振興局総務振興課および各支局総務振興課

事業の区分	助成金額	事業の概要
一般 コミュニティ助成	100～ 250万円	住民が自主的に行うコミュニティ活動に直接必要な施設などの整備事業に対する助成。（コミュニティセンターに係る備品などの補助は除く） 例　視聴覚機器、いす、テーブルなど
緑化推進 コミュニティ助成	50～200万円	緑化推進活動を通じて地域住民のコミュニティが図られ、公園やその周辺の植栽などの事業に対する助成。特に植樹が優先です。 例　苗木、種子など
コミュニティ センター助成	事業費の3/5以内 （上限1,500万円）	コミュニティ組織が行う多目的な総合施設（コミュニティセンター）の建設整備事業などに対する助成
青少年健全育成	30～100万円	青少年の健全育成に資するため、主に小・中学生が参加する次の事業に対する助成。 (1)スポーツ・レクリエーション活動に関する事業 (2)文化・学習活動に関する事業 (3)その他コミュニティ活動のイベント等に関する事業

※真庭市に提出された申請書類は、県を通して自治総合センターに送られ、審査が行われます。全国規模の事業のため、申請しても採択されない場合があります。

宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

久世地区　ラストワンマイル事業加入説明会日程

企画観光部　情報推進課 TEL 0867-44-2646

時間はすべて19:30～20:30

8/20(月)	土井原上、土井原下、黒地（土井原公民館）
	江森上、江森下、川西、佃（江森公民館）
	西浦、矢古、入江（矢古公民館）
21(火)	伏ヶ茅、鍋谷、山生、中屋（鍋谷公民館）
	皆畑、皆畑東（皆畑公民館）
	樫東下、樫東中、樫東上、影梁（樫東生活改善センター）
23(木)	定松、梶堀、行当、打井畑、横瀬（行当公民館）
	上口上、上口下（上口公民館）
	大内原（大内原コミュニティハウス）
24(金)	中原（中原公民館）
	宿（宿公民館）
	橋本、橋本住宅、昭和（目木勤労者研修センター）
25(土)	金屋東（金屋東公民館）
27(月)	西口東、西口西、上連（西口公民館）
	三崎（三崎公民館）

27(月)	寿和（寿和公民館）
28(火)	五反東、五反（五反公民館）
	金屋上、金屋中、金屋下（明親館）
	浜（浜公民館）
30(木)	大上（大上公民館）
	岩内（岩内公民館）
31(金)	雇用促進（目木勤労者研修センター）
	大下、みどり団地（大下コミュニティハウス）
	高瀬町１、高瀬町２、草沢団地（高瀬公民館）
9/3(月)	高瀬町３、高瀬町４（高瀬公民館）
	惣上、惣下（惣コミュニティハウス）
	富尾中、富尾下１、富尾下２（富尾公民館）
4(火)	高瀬町５（高瀬５公民館）
	富尾上１、富尾上２、富尾上３（富尾公民館）
	田下上東（田下公民館）

真庭市職員募集

平成20年度採用の真庭市職員（土木技術職・保育士・保健師・看護師・消防職員）を募集します。受験案内は真庭市役所総務課・各支局・振興局（真庭市消防本部・分署）に用意しています。受験希望者はお申し込みください。

職種および主な受験資格　※（　）内は採用予定人数

①土木技術職（２名以内）
短期大学（専門学校）卒業程度の学力を有する人

②保育士（２名以内）
幼稚園教諭免許状を有し、併せて保育士資格を有する人および平成20年３月31日までに取得見込みの人

③保健師（３名以内）
保健師資格を有する人および平成20年３月31日までに取得見込みの人

④看護師（５名以内）
看護師資格を有する人および平成20年３月31日までに取得見込みの人

※①～③は、昭和52年４月２日以降に生まれた人が対象、④は、昭和47年４月２日以降に生まれた人が対象です。

⑤消防職員（８名）
昭和57年４月２日～平成２年４月１日までに生まれた、身体健全、体力強健、精神機能完全な人が対象。男女を問いません。

※①～⑤の詳しい受験資格は受験案内に記載しています。

申込書受付締切
①～④は、８月21日㈫午後５時まで、⑤については、８月24日㈮午後５時までに提出してください。
※郵送の場合は受付最終日の消印まで有効。

試験日時
９月16日㈰　午前９時から

試験会場
▶①～④については
勝山高等学校
▶⑤については
真庭市消防本部および久世中学校（体力試験会場）

受験申込書提出および問い合わせ先
▶①～④については
〒717-0013　真庭市勝山53-1
真庭市役所総務部総務課（勝山庁舎）
TEL0867-44-2611　FAX0867-44-2931
▶⑤については
〒719-3204　真庭市惣254-8
真庭市消防本部総務課
TEL0867-42-1190　FAX0867-42-1672

※受験申込書は、市役所各支局および振興局の総務振興課、消防職員については、消防本部・各分署へも用意しています。市ホームページ上からもダウンロードできます。

ゴミの野焼きは、犯罪です

市民生活部　環境課
TEL 0867(42)1113

庭先や空き地でドラム缶を使ってゴミを焼くなど、原則として野外焼却（野焼き）は禁止されています。良い環境で安心して暮らせるように、野焼きは止めましょう。

ごみを燃やすと悪臭や煙による近隣住民とのトラブルを招くだけでなく、ダイオキシン類などの有害物質が発生し、健康への影響も心配されます。

廃棄物処理法により、原則として野外焼却（野焼き）は禁止されています。この法律はダイオキシンの一層の削減により、生活環境を守り、野外焼却（野焼き）という不適正な廃棄物処理を絶つことを目的としています。

野焼きは、ゴミの不法投棄やポイ捨てと同様、犯罪行為として取り締まりの対象になります。ゴミは定められた処理方法で適正に処理しましょう。

罰則規定

廃棄物の焼却禁止違反をすると５年以下の懲役、1000万円以下の罰金またはこの併科

お知らせ Information

夢に向かうあなたを応援
真庭市奨学生の追加募集

真庭市では経済的な理由により就学困難な高校・大学生などに奨学金貸付を行っています。19年度の奨学生を追加募集しますので、お問い合わせください。

奨学金額　一カ月3万円以内（高校生は2万円以内）
募集人員　7名まで
締め切り　8月24日㈮
問い合わせ先　教育委員会教育総務課　TEL0867(52)1180

常に心にとどめておくためにも
防火標語の募集

秋季火災予防運動行事の一環で防火標語を募集します。

応募資格　真庭市、新庄村に居住する方
応募方法　はがきに標語、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
応募期間　9月30日㈰まで
表彰　最優秀賞1編、入選10編
応募先　〒719-3204　真庭市惣254-8　真庭市消防本部予防課　TEL0867(42)1190

勝山で開催します
郷原漆器展

旧川上村で栄え、600年の歴史を持つ郷原漆器。その歴史を紹介する、製作道具と製品の展示会を勝山で開催します。

日時　8月7日㈫～9月2日㈰　午前9時30分～午後4時30分（会期中無休）
場所　真庭市立勝山郷土資料館
入館料　200円
問い合わせ先　教育委員会教育総務課　TEL0867(52)1180

はんざき祭りとあわせて開催
ハンザキ・シンポジウム

晴れの国野生生物研究会、真庭遺産研究会では、オオサンショウウオ生息地を訪ねるエコツーリズムとしてシンポジウムとエコツアーを開催します。

・シンポジウム
日時　8月8日㈬　午後1時～
場所　湯原ふれあいセンター
・源流エコツアー（申込必要）
日時　8月9日㈭　午前9時～
集合場所　湯原支局駐車場
※両日とも参加無料
問い合わせ先　グランドワーク真庭設立準備会　TEL0867(55)2831

温泉につかって楽しめます
湯気夢里寄席（ゆけむりよせ）

砂湯周辺で大学落語研究会による落語などが楽しめます。もちろん、温泉に入らずとも聴くことができます。（入場無料）

日時　8月25日㈯　午後8時～
場所　湯原温泉砂湯周辺
問い合わせ先　真庭商工会青年部湯原エリア　TEL0867(62)2174

年金相談

ねんきんダイヤル
TEL0120-657830

出張年金相談室
日時　毎月第2・第4木曜日　10:00～15:00
場所　勝山文化センター
※年金番号が分かるものと、本人確認ができる免許証、保険証などをご持参ください。
※代理の場合は委任状が必要です。

問い合わせ先
津山社会保険事務所
年金給付課　TEL0868-31-2365

真庭市の人口

総　数 52,722人（－22）
男　25,147人（＋5）
女　27,575人（－27）
世帯数 17,558世帯（＋17）

平成19年7月1日現在
（ ）は前月との比較

支局代表電話番号（総務振興課・出張所）

勝山支局（勝山庁舎）
0867-44-2607
久世支局（久世庁舎）
0867-42-1111
落合支局（落合庁舎）
0867-52-1111
蒜山振興局（八束庁舎）
0867-66-2511
北房支局
0866-52-2111
美甘支局
0867-56-2611
湯原支局
0867-62-2011
中和出張所
0867-67-2111
川上出張所
0867-66-3611

真庭市消防本部
0867-42-1190

今年のふるさと勝山もみじまつりは、10月28日㈰開催

YOSAKOI ソーラン踊り連

参加チーム大募集

1チーム10名以上で、コスチュームは自由です。ふるってご参加ください。　※申込締切　8月31日㈮

申し込み・問い合わせ先　勝山支局総務振興課　TEL0867-44-2607

対象者を拡大しました
重度心身障害者タクシー利用助成

真庭市では市内に住所のある重度心身障害者がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成していますが、平成19年7月1日から「在宅で聴覚に障害があるため身体障害者手帳1、2級の交付を受けている方」が対象者として加わりました。

対象者　在宅で、視覚、聴覚、上下肢に障害があるため身体障害者手帳1、2級の交付を受けている方。または下肢、体幹に障害があるため身体障害者手帳1～3級の交付を受けている方。および療育手帳Aを所持する知的障害者。

助成金額　月額3、000円

申請窓口　福祉課および各支局・出張所窓口

問い合わせ先　福祉課　TEL 0867(52)1112　FAX 0867(52)1417

請求期限まであとわずか
特別弔慰金の請求

戦没者などの死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日において公務扶助料や遺族年金等を受ける方がいない場合に、特別弔慰金として額面40万円（10年償還）の記名国債が支給されます。

対象者　次の順番による先順序のご遺族お一人

①弔慰金の受給権者　②戦没者等の子　③戦没者等と生計関係があり、かつ戦没者等と氏が同じである父母・孫・祖父母・兄弟姉妹　④③以外の父母・孫・祖父母・兄弟姉妹　⑤①～④以外のご遺族で、戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計関係のあった三親等内の親族

請求期限　平成20年3月31日(月)

問い合わせ先　福祉課（TEL 0867(52)1112）または、各支局、出張所福祉係

きっかけがえのない財産に
ホストファミリー募集

アメリカの大学生が日本の文化を学ぶため真庭市を訪れます。真庭市では滞在中にホームステイを受け入れてくださるご家庭（ホストファミリー）を募集します。英語が話せなくても大丈夫です。自然体で異文化に接してみませんか。

滞在期間　9月28日(金)～30日(日)

応募締切　8月31日(金)

応募条件　ホームステイ期間中落合地区もしくは北房地区で行われる対面式・交流会などへ学生を送迎できる方。

応募世帯数　20世帯程度

問い合わせ・応募先　落合支局総務振興課（落合公民館内）TEL 0867(52)3315　または　北房支局総務振興課 TEL 0866(52)2111

堆肥の販売日を変更
勝山堆肥センター

勝山堆肥センター（正吉）の堆肥販売日が、8月1日(水)より週2日となります。

販売日　毎週水曜日・日曜日

販売時間　午前10時～午後4時

問い合わせ先　竹原牧場（TEL 0867(44)4973）または勝山支局産業建設課　TEL 0867(44)2927

相談する勇気を 多重債務

消費者金融会社やクレジット会社などからの借金がふくらむ「多重債務」。多重債務に陥った場合、弁護士などの専門家の支援が必要になりますが、専門家に相談するのは勇気がいるものです。真庭市では専門家への相談に入る前の第一歩として、相談や専門機関への案内などを行っていますのでお気軽にご相談ください。

問い合わせ先
市民課　TEL 0867-42-1112
または各支局市民福祉課

リユース講座（再利用）
クリーンセンターまにわ内 ふれ愛プラザ
ガラス工房

ガラスの表面に砂を吹き付けて彫刻を施すサンドブラスト教室を開催します。あなただけのガラス細工を作ってみませんか。

日時：8月23日(木)　13:30～
場所：クリーンセンターまにわ内 ふれ愛プラザ（樫西）
定員：30名　参加費：300円
申込締切　8月17日(金)
問い合わせ先（平日のみ）
ふれ愛プラザ　TEL080-6327-2795

☆チャイルドシート、ベビーカーが不要の方は出品をお願いします。
☆食用廃油を回収しています。石けんに再生します。

26th 蒜山高原マラソン全国大会
秋の蒜山は気持ちええでぇ～！ 10月21日(日)開催

スタート地点：蒜山高原スポーツ公園（蒜山上長田）　コース：ハーフ、10キロ、5キロ、3キロの4コース　申込締切：8月31日(金)（各支局に大会要綱などを用意しています）
参加費：一般1,500円　小・中・高校生1,000円（市民料金）
問い合わせ先：蒜山振興局総務振興課　TEL 0867-66-2511

一人で悩まず相談を
家庭・女性相談

真庭市では家庭・女性相談を行っています。子どもの養育や非行、不登校、パートナーからの暴力など、女性が抱える問題はさまざまです。経験豊富な女性の相談員が対応しますので、安心してご相談ください。

日時　毎週火・木曜日　午前8時30分～正午
場所　勝山文化センター
相談料　無料
※待ち時間を極力なくすため、相談にこられる際には事前連絡をお願いします。
問い合わせ先　生涯学習課　TEL0867(44)7301

現況届の提出をお忘れなく
児童扶養手当

現況届は手当を引き続き受けられるかを確認するためのものです。未提出の場合は手当が受けられなくなりますので、現在児童扶養手当を受けている方は、必ず提出してください。

提出期限　8月31日(金)
問い合わせ先　子育て健康推進課　TEL0867(52)1115

手続きをお忘れなく
入院時食事代減額制度

真庭市では、入院時の食事負担を減額する制度を設けています。対象となるのは真庭市国民健康保険被保険者、または真庭市老人保健医療受給者の方で、住民税非課税世帯の方、または税制改正により新たに住民税課税世帯となった70歳以上の住民税非課税の方です。制度を利用される場合は申請手続きを行ってください。

※既に認定証をお持ちの方には更新案内を送付しております。
問い合わせ先　市民課　TEL0867(42)1112または各支局市民福祉課

9月から順次、施設名表示のないものに切り替わります

❶真庭市ごみ指定袋はどちらで購入されても使用できます。
❷施設名の入ったごみ指定袋も引き続き使用できます。
❸ごみの収集、処理の変更はありません。お住まいのごみステーションにお出しください。

今年は30回目の記念大会
第30回女性のつどい

愛育委員会や栄養改善協議会などの団体で構成される勝山女性団体連絡協議会が、女性のつどいを開催します。今回の記念大会では、大阪・岡山を中心に活動する蒜山のボーカルグループ「フリーダム」による「いのち輝かせて」と題したトークやライブが行われますので、一般の方もご参加ください。

日時　9月2日(日)　午後1時30分～
場所　勝山文化センター
※参加費無料
問い合わせ先　勝山文化センター　TEL0867(44)2011

牛と新たな生活を始めませんか
肉用牛入門講座

岡山県では、肉用牛の飼育に興味があり、定年後などに県内で就農を希望している方を対象に、年4回にわたって肉用牛飼養の基礎から実習までを学ぶ入門講座を開催します。

日時　9月2日(日)　午前10時～
場所　岡山県総合畜産センター（美咲町）※9月～翌年1月までに牧場体験などを実施
募集定員　20名程度
問い合わせ先　社団法人岡山県畜産協会　TEL086(222)8575

小規模の繁殖経営農家を応援
真庭市肉用牛導入事業基金

真庭市では、肉用牛生産基盤の強化や中山間地域の活性化を目的として畜産農家や新規就農者を対象に、和牛の貸付を行います。

※既に繁殖経営を営んでいる場合、原則として繁殖牛の飼養規模の少ない零細な農家を対象とします。
問い合わせ先　農業振興課　TEL0867(42)1031

休日急患担当医

5日
- 近藤病院・勝山 0867-44-2671
- イケヤ医院(内)・久世 0867-42-0122
- さくもとクリニック(外)・北房 0866-52-4833

12日
- 落合病院・落合 0867-52-1133
- 宮島医院(内)・勝山 0867-44-2403

13日
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221
- 河本病院・落合 0867-55-2121

14日
- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221

15日
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221
- 落合病院・落合 0867-52-1133

19日
- 河本病院・落合 0867-55-2121
- 遠藤クリニック(外)・川上 0867-66-3002

26日
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221
- 前原医院(内)・久世 0867-42-5267
- 牧原医院(外)・北房 0866-52-2469

―9月―

2日
- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 人見医院(内)・勝山 0867-44-2133

8月の記念日・節気

6日　広島原爆の日
7日　鼻の日
8日　立秋
9日　長崎原爆の日
15日　終戦記念日
23日　処暑

一人ひとり人権意識の高揚を
人権啓発ポスター・作文募集

真庭市では、家庭、職場、学校などの日常で感じた、人権を題材とした作品を募集します

対象者　市内在住あるいは市内に勤務している方

募集作品　作文（400字詰原稿用紙3枚以内）ポスター（四つ切または八つ切り画用紙）

応募締切　・ポスター　9月28日㈮、・作文　12月21日㈮

問い合せ先　生涯学習課　TEL0867(44)7301

事前講習会も開催
危険物取扱者試験

○危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験日　10月28日㈰

試験会場　岡山、倉敷、津山

申し込み先　消防試験研究センター岡山県支部　TEL086(271)6727

○事前講習会を勝山文化センターで開催します。

開催日　10月10日㈬

申し込み先　真庭市消防本部または各分署

申込期間　試験・講習会ともに8月29日㈬～9月10日㈪。願書は本部及び各分署に用意。

問い合わせ先　真庭市消防本部　TEL0867(42)1190

行方不明者を探している方へ
相談所を開設（無料）

警察では、8月1日～10日までを行方不明者身元確認強化旬間として、行方不明者を探している方々のための相談所を開設します。初めて相談される方は、写真など、行方を捜す手がかりとなる資料をご持参ください。

相談内容等の秘密事項は一切口外することはありません。

日時　8月6日㈪～10日㈮　午前9時～午後4時

場所　鑑識科学センター（岡山市富田町1―3―2）

TEL086(234)0110

再講習が義務化されています
防火管理者講習

飲食店やホテルなど、一定基準以上の建物の管理者は、防火管理者を選任し、消防長または消防署長に届け出なければなりません。その中でも、比較的大規模な防火対象物の防火管理者については、最新の知識と技能を得る必要があるため、再講習が導入されています。

○防火管理者再講習

実施日　9月12日㈬

○防火管理者新規講習

実施日　9月13日㈭～14日㈮

※場所はいずれも美作大学

受付期間　8月13日㈪～24日㈮

問い合わせ先　真庭市消防本部　TEL0867(42)1190

募集説明会を開催
陸・海・空自衛官募集

防衛省では、防衛大学校学生、一般曹候補生、二等陸・海・空士などを募集します。募集説明会を開催しますので、興味のある方はご参加ください。

日時　8月10日㈮　午後7時～

場所　勝山文化センター

※応募資格や年齢など詳しくは左記まで。

問い合わせ先　自衛隊岡山地方協力本部津山出張所　TEL0868(22)5637

ありがとうございました
篤志寄付

中島浩一郎さん（勝山）より、勝山図書館に書棚4台をいただきました。

入札結果（にゅうさつ）

総務部管財課
TEL0867-44-2618

●予定価格250万円以上の公共工事落札額を公表します。
●表記順
《入札日→工事名（発注課）→落札者→落札額（税抜き額）》

●平成19年6月15日

・市道水の手線道路側溝修繕工事
（勝山支局産業建設課）
真庭技建…3,730,000円

・湯原簡易水道測量設計業務
（上下水道部水道課）
㈱日本都市工学設計…8,300,000円

・美甘簡易水道浄水場測量設計業務
（上下水道部水道課）
㈱ウエスコ…9,000,000円

・新建地区配水管布設替工事
（上下水道部水道課）
㈲カネサダ設備…14,800,000円

・城内地区送配水管布設工事
（上下水道部水道課）
㈱三木工務店…20,200,000円

・市道坂本下一色線舗装新設工事
（建設部建設課）
㈱富松組…4,700,000円

・市道栗原中央線道路改良工事
（建設部建設課）
牧建設㈱…19,250,000円

・蒜山振興局庁舎建築工事空調一次側熱源設備工事（蒜山振興局総務振興課）
斎久工業㈱　35,900,000円

※入札結果は真庭市のホームページにも掲載しています。ご覧ください。

掲載：6月15日の入札実施分

建築始まる

市政 Topics トピックス

久世中学校の校舎棟、屋内運動場、給食棟、部室倉庫棟の建築が始まりました。位置は現学校敷地に建築するため、年次計画により、平成19年度に屋内運動場建設、平成20年から21年度には校舎棟を建設し、平成22年度に全工事が完了する予定です。

施設の特徴　▷校舎棟…校舎棟中央に廊下を配置した中廊下形式の建物となります。エレベーターを設置しバリアフリーにも対応します。▷屋内運動場…ミーティングルーム、管理室を備え、アリーナ西面に格技場が設けられます。▷給食棟…今までなかったランチルームを設置し、全生徒、教職員が一堂に会して給食を食べることになります。

中鉄美作バス
市内11路線が10月末で廃止

子どもの通学や、交通手段のないお年寄りらに親しまれ、生活の足となっていた中鉄美作バスの市内11路線が10月末で廃止されることになりました。利用者の減少や補助金の打ち切りなどが主な要因です。市公共交通対策室では、空白期間のないように、今後の運行形態について検討中です。廃止路線は次の表の通りです。

中鉄美作バス廃止路線

番号	路線名	起点	終点	運行数
❶	追分口線	勝山	追分	2往復
❷	河内線	勝山	河内	2往復
❸	余野上線	勝山	余野上	2往復
❹	大倉線	勝山	富	1往復
❺	見明戸線	湯原	見明戸	2往復
❻	蒜山線	湯原	蒜山	1往復
❼	才ヶ屶線	湯原	才ヶ屶	1往復
❽	上福田線	湯原	上福田	0.5往復
❾	中曾線	湯原	中曾	0.5往復
❿	蒜倉線	蒜山	倉吉駅	1往復
⓫	延倉線	中曾	倉吉駅	1往復

まにわくん♡ 6月の利用状況（真庭市コミュニティバス）

地区	路線名	人数
北房	北房	221
落合	別所	47
	別所・日野上	60
	上山	21
	吉・田原山上	43
	杉山	31
久世	樫東・余野	204
	樫西・三坂	196
湯原	藤森・見明戸	524
	真賀・釘貫小川	288
	湯原・美甘	50
	湯原・中和	182
勝山	星山	56
	月田・佐引	17
	後谷・畝	4
	山上・後谷	97
	富山	88
	清谷	61
	上	69
美甘	美甘	629
蒜山	中和	999
	八束	47
	川上	95
合計（延べ人数）		4,029

期間：6/1～30（公共交通対策室調べ）

動き

市政に関する動きの一部を紹介します

7/2 安全で安心な社会実現のために

社会を明るくする運動強調月間により法務大臣メッセージが真庭地区保護司会より市長へ手渡されました。その後、犯罪や非行のない明るい社会を目指して、市内啓発パレードが行われました。

7/4 集中豪雨による土砂災害発生

梅雨時期の集中豪雨により、土砂崩れの被害がありました。４日には、市道後谷線脇の山肌が、５日には県道中福田湯原線脇の山肌が崩れ、土砂や倒木が道路を埋め、通行止となりました。

7/6 ラストワンマイル工事の安全を祈る

平成19年度光ファイバ敷設工事の安全祈願祭が垂水神社で行われました。市の南部地域の家庭に光ファイバ線が引き込まれ、完成後は市内全域で行政告知や電話などの通信サービスが始まります。

7/7 要約筆記奉仕員養成講座を開催

久世公民館で要約筆記奉仕員養成講座が開かれ、16人が受講しました。聴覚障害者や高齢者などへ、音声を文字に変えて伝えるコミュニケーション技術の基礎を学び、全10回受講します。

7/19 若者の思いをイベントに

市が若者のイベント企画者を募集したところ、16人が応募。第１回実行委員会が、勝山文化センターで開かれました。若者のニーズを的確にとらえた若者イベントの開催が期待されます。

久世中学校の

今年度は屋内運動場の新築工事

昭和41年に建設された屋内運動場の耐震化にむけて、新築工事が始まりました。７月３日には、久世中学校で安全祈願祭が行われ、関係者約40名が出席しました。完成は来年２月29日の予定です。

～資源循環型社会の形成を考えよう～

バイオマス

利活用シンポジウム開催

木材などの、再生可能な資源「バイオマス」。真庭市ではこのバイオマスを利用して産業を活性化させる取り組みを進めており、全国的に注目を集めています。この取り組みを、もっと若い世代にも知ってもらおうと、市内３カ所の中学校でシンポジウムが開催されました。当日はＮＰＯ法人樹木・環境ネットワーク協会の渋澤寿一氏による講演と、ランデス株式会社の藤木昭宏氏による事例発表が行われ、生徒や訪れた一般参加者らは、地球規模から身近なところまで、今、わたしたちの身の回りで進んでいるバイオマス資源の利活用について知識を深めました。

7月3日、落合中学校でのシンポジウムの様子

好奇心をくすぐる 真庭の夏

8/4～5 庭園で涼をお楽しみください 三浦邸ライトアップ

椎の木の巨木があることから「椎の木御殿」として親しまれている旧勝山藩主三浦邸がライトアップされます。期間中はそうめんなどの軽食が用意されるほか、5日には琴の演奏もあります。点灯時間 午後7時～9時 圃椎の木おもてなし会 TEL 0867(44)2010

8/13～15 工作感覚で楽しめます シリゲ教室

蒜山地域に伝わる透かし絵風切り紙「シリゲ」の教室が開催されます。初めての方でも大丈夫です。午前10時～午後4時（当日参加、途中参加可能）受講料200円（教材代込み）※入館料、大人300円、中高200円、小100円が別途必要。圃蒜山郷土博物館 TEL0867-66-4667 ※8月8日㈬～31日㈮の期間中、作品展開催します。記念品の当たる人気投票も同時開催。

8/17 自然を大切にする人に育ってほしい 子ども樹木博士

小学生を対象に、樹木の名前や生態について野外学習を行い、その後全国森林レクリエーション協会に準じた試験を受け、「子ども樹木博士」を認定します。
場所 勝山美しい森（菅谷） 申込締切8月10日㈮ 午前10時～午後3時 圃真庭森林組合 TEL0867-44-3036

8/19 今回はちょっとアブナイ(?)企画です 津黒いきものふれあいの里 自然観察会

わたしたちの身の回りには「危ない」と言われる動植物が生息しています。このような動植物の生態や対処方法などについて知識を深め、今後、安全に・楽しく自然と付き合っていきましょう。 午後1時～3時 津黒いきものふれあいの里 参加料無料 圃ささゆり館 TEL0867(67)7011

8/26 蒜山ガイドクラブ夏企画 夏の湿原観察会

湿原ならではの生物・花々を観察します。8月22日㈬：東湿原（蒜山上長田）応募締切8月17日㈮、8月29日㈬：天谷湿原（蒜山上徳山）応募締切8月24日㈮時間は両日とも午前8時30分から2時間程度の予定 募集定員10名程度 参加料1,000円 圃蒜山観光協会 TEL0867-66-3220

8/26 つくる喜び、あそぶ喜び再発見 美甘竹まつり

竹を使って竹馬やポックリを作ります。自作のおもちゃで遊ぶと楽しいですよ。おうちの方も久々に「熱く」なってください。作業の後は、割った竹で食べる「ひんやり」流しそうめんが待っています。午前10時～午後1時 参加料一般1,000円、小学生以下500円（要予約） 圃クリエイト菅谷 TEL0867-56-2044

心を彩る 真庭の夜

8/4(土) 落合納涼花火大会
落合庁舎前 旭川河川敷

会場には200近くの屋台が並び、とてもにぎやかです。午後７時50分ごろから、約2,500発の打上げ花火と仕掛け花火が夜空に咲き乱れる県北最大級の音と光の祭典が始まります。

8/8(水) はんざき祭り
湯原温泉街

午後５時30分より、はんざきの形をした山車(だし)が、華やかな踊り子衆を引き連れて温泉街を練り歩きます。午後８時30分から、露天風呂にちなんだ626発の花火が打ち上げられます。

8/14(火) 久世祭り2007 リバーサイドフェスティバル
久世河川公園

午後４時から魚のつかみ取りなどの子ども向けイベントが始まり、午後７時からステージイベントが始まります。最後を飾る午後８時50分からのファイヤーショーは圧巻です。

8/11(土) 北房青年団納涼盆踊り大会
コスモスドーム（上水田）

北房青年団が主催する納涼盆踊り大会です。午後７時開始で、盆踊りのほかに、スイカの早食い競争やお菓子投げ、豪華商品の当たる抽選会などが行われます。

8/14(火) 夏祭りin川上2007
川上小学校グラウンド

午後6時開始。会場では大宮踊りを始め、ステージ発表などが行われます。午後7時30分からの花火大会は、市販品ですが、多種多様な花火が目の前で打ち上げられ、見ごたえ十分です。

8/13(月) 中和ふるさと祭り
旧中和中学校グラウンド

午後６時30分開始。地域の皆さんによる出店がずらりと並ぶ、手作り感たっぷりの、まさに「ふるさと」を感じることができるお祭りです。花火の打ち上げは午後８時の予定です。

8/15(水) ひるぜん花火大会
福田神社周辺（蒜山中福田）

会場周辺は歩行者専用となり、出店などでにぎわいます。花火大会の開始は午後８時。漆黒の澄んだ夜空に咲き誇る大輪は見事です。花火終了後は福田神社で大宮踊りが始まります。

8/13(月) 勝山盆踊り大会
勝山小学校グラウンド

午後７時から始まり、ビンゴゲームや踊りで盛り上がります。お楽しみチャリティー抽選会では、抽選券の売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付するという取り組みも行っています。

まにわが好きっ 読者の広場

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

今月は寄せられたお便り58通の中からチョイス

▲ PN かめむし

▲ PN CO

▲ PN MISAKI

今月のテーマ（6月号で募集）

真庭の盆

踊り継がれる念仏踊り

原田　仁さん（吉）

吉念仏踊り保存会は、毎年8月16日のお盆の夜に、落合の吉地区にある法福寺の境内で、県の重要無形文化財に指定されている「吉念仏踊り」を披露しています。この踊りは、その昔疫病が流行したことを契機に、悪霊退散と先祖の供養のために始まったと言い伝えられる、信仰的な性格の強い踊りです。「音頭とり」の念仏に合わせて、踊り子たちが鉦や太鼓を打ち鳴らし、跳躍する伝統の踊りを忠実に再現しています。ぜひ一度ご覧ください。

法福寺の境内で披露される念仏踊り

地域の活力「青年団」

元青年団員　Hさん

北房地域でお盆といえば、青年団の盆踊りが有名です。この盆踊りには、お盆の帰省客や地元の人たちがたくさん集まり、交流の場となっています。わたしも毎年、懐かしい顔ぶれに会えるのを楽しみにしています。今年も8月11日㈯の夜、コスモスドームで行われると聞きました。青年団の盆踊りは、ふるさと真庭の良さを多くの人に伝える大事な夏のイベントとなっています。そんな若者青年団の元気な活動を影ながら応援しています。

コスモスドームで開催される盆踊り

大宮踊は我らの青春

有富光男さん（蒜山富掛田）

大宮踊は、戦後の何も無い時代、若者にとって特別な日でした。地域の男女が集まる数少ない機会だったのです。男衆は、出会いを求め、各地区の踊りに遠征するのですが、ほかの男衆に遅れまいと、浴衣と草履を肩に掛け、我先にとはだしで駆け出していました。そして男女が一緒になって踊りの輪をつくる。そうして楽しんでいたものですから、音頭も踊りも自然と身についていました。時代は変わり、今の若者は「文化伝承」という視点から踊りを見なければなりません。当時のような楽しみはありませんが、この大宮踊が若者に継承され、この蒜山地域で踊り続けられることを祈っています。

8/13～19に蒜山地区で踊られます

▲ PN ゆうびんちゃん

▲延吉琉司

▲ PN みゆベリー

▲ 樋口雪乃

▲ おおくら ちほ

お便り お待ちしています！

10月号の読者の広場
テーマは「収穫」です。

作物が実る秋がやってきます。収穫の喜びや、体験したことなどを200字程度でお寄せください。

（みかん狩り、キノコ狩り、いもほり、サイロ漬け、稲刈り、アケビ取り、柿取り、クリ拾い）

- **川**柳の兼題は「いも（芋）」
- **イ**ラストや絵はがき
- 広報まにわへのご意見やご感想、また皆さんの身近な出来事などもお寄せください。市内で開催された行事に参加した感想でも結構です。

お便りは、「広報まにわ読者の広場直通はがき」をご利用ください。お送りいただく場合は、必ず住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。匿名・ペンネームで掲載を希望される場合でも明記してください。

川柳の締め切りは8月27日㈪です。

※PNはペンネームの略です。

▲ 山本果乃

▲ PN 紅水仙

▲ PN ラムネ

地域が愛した鹿田踊り

福井純平さん（鹿田）

落合の鹿田（かった）地区に「鹿田踊り」という踊りがあります。かつては旧真庭郡南部を中心に踊られていましたが、鹿田地区を残すのみとなり、「鹿田踊り」と呼ぶようになりました。鹿田に残った理由は定かではありませんが、地域住民がこの踊りを愛し、踊り続けてきたことだけは間違いありません。その思いは今も受け継がれ、保存会メンバーを中心に、夏の盆踊りをはじめ、依頼があればイベントにも参加しています。8月14日㈫は鹿田地区へ足を運んでください。

むかし鹿田市で披露される鹿田踊り

ここからは広報まにわを読んでのご意見、お便りの一部をご紹介します。

キヌガサダケを発見

武村一美さん（下方）

友達の家に自転車で行く途中、竹林のそばに白いごみがあるなぁと思いよく見てみると、世にも不思議なキノコが…。早速友達の家で一緒に辞典を調べてみると、「キヌガサダケ」だと分かりました。キノコの名前が分かったので記念に写真でも撮ろうと、キノコのあった場所にいくと、最初に見たときより、しぼんで年を取ってしまったような。きれいな形を保つのは、ほんのわずかな時間だけなのですね。新しい発見でした。

キヌガサダケ

エコクッキングに参加

森本ひろ子さん（多田）

新聞やメディアから聞く地球温暖化や地球環境問題という言葉は、他人事のように考えていましたが、自分たちにとって最も大切なことであることを再確認しました。わたしたちの日常生活の中にも、食生活と自然環境は密接なつながりがあります。買い物袋、料理、食事などもそうなのです。環境にやさしいバイオマス産業における真庭市の取り組みは、全国トップクラスなのです。もっと市民から環境を考えた取り組みを行うことができるといいですね。

少しの工夫でエコに近づけます

まにわが好きっ 読者の広場

▲ PN 自由果実

▲ PN カーボーイ

▲ PN ナウティカ

▲ PN ピンポン

今月の1枚
Tシャツアートで遊んじゃおう
(文化往来館ひしお)7/22

精一杯吹きました
森　正人さん(仲間)

数日前に急きょ2代目ほら貝吹きに任命され、露天風呂の日の催しで、ほら貝を吹きました。湯原温泉では、毎年6月26日の「露天風呂の日」に、旅館やホテルの内湯を無料開放するなど、温泉街を挙げてさまざまなイベントを行っています。お越しいただいたお客様に少しでも喜んでいただけるように、感謝の気持ちをこめて行う年に一度の大イベントですので、ぜひ一度お越しください。

山はすばらしい学習の場
青木政子さん(組)

美しい森の下草刈りに参加しました。山はいつ来ても感動があります。今日はオトシブミの揺らん(ゆりかご)や、成長を始めたばかりの栗の毬果(実)を発見しました。最近、「自然のものが自然にある」という本来当たり前の姿を知らない人が増えています。山菜取りや昆虫採集など、山に来て実際に見て体験してください。多くのことを学べます。美しい森は山に慣れていない方でも安心ですよ。

取材先で、こんにちは。真庭人(まにわびと)

皆さんの日常の中に郷原漆器を
道祖タカさん(蒜山上福田)

漆器と聞くと扱いが難しそうですが、そんなことはありません。電子レンジ、食器洗浄・乾燥機の使用さえ避ければ普通に使えます。見た目の美しさだけでなく、「結露しにくい」「熱くなりにくい」という性質や、天然素材による体へのやさしさなど、機能的で実用的な器ですので、皆さんの日常の中に漆器を加えてください。

要約筆記の必要性を痛感して
入尾早百合さん(月田本)

要約筆記奉仕員養成講座に参加しています。最近まで勤めていた福祉関係の仕事の中で、高齢者とのコミュニケーションが難聴などで思うようにとれないことがあり、音声を文字に変えて伝える要約筆記の必要性をすごく感じました。今後また、福祉関係の仕事に就くときに少しでも役立つように、頑張って勉強したいと思います。

ぼくたちわたしたちの学校紹介 15/28

月田小学校 月田5642

月田駅から南西へ約1キロの所に月田小学校はあります。児童数は89名。毎朝、子どもたちの元気なあいさつが聞こえています。朝タイムには、読書と算数チャレンジに熱心に取り組んでいます。曜日ごとにグループを組んで、一人で下校することがない体制をとっています。奨学会や地域の方々の温かい「みまもる輪」の中で、すくすくと成長している月田っ子です。

全員そろったな、よし、帰ろう!

真庭市栄養改善協議会の提供です

ヘルシーモクッキング

●手羽先のピリ辛煮●

ピリッとした辛さが食欲を誘う、夏バテ気味の人に特におすすめの料理です。圧力鍋を使うので柔らかく調理でき、辛さを調整すればお年寄りからお子さんまで召し上がっていただけます。

●材料（4人分）

・手羽先	８本
・酒	180cc
・豆板醤	小さじ１杯
・砂糖	大さじ１杯
・ケチャップ	大さじ２
・酢	大さじ１杯
・しょうゆ	大さじ１杯
・サラダ油	大さじ１杯

●作り方

①フライパンに大さじ１杯の油を入れ、手羽先に焦げ目がつくまで焼く。
②圧力鍋にすべての調味料を入れ、火にかける
③沸騰後、7分くらい中火で煮込み、火を止める。

エネルギー	482kcal
たんぱく質	46.6ｇ
脂質	24.1ｇ
カルシウム	36mg
塩分	1.5ｇ

今月のレシピ提供は
石田具子さん
（中和支部）

図書館へ行こう　本の紹介

今月は市立久世図書館から　TEL0867-42-7203

真庭市立久世図書館
〒719-3214
岡山県真庭市鍋屋17-1
（久世エスパス2階）
開館時間　9:30～18:00
毎週水曜日を基本に休館
http://lib.city.maniwa.lg.jp

視聴覚コーナーがますます使いやすくなりました。今までビデオしか利用できなかったブース（写真上）でＤＶＤもご覧いただけるようになっています。ご来館になって一覧表を見てみてください。きっと気になるものが見つかりますよ。

大人の太鼓判
これができれば一人前

辰巳　渚／著

あなたは18歳以上ですか？「ご愁傷さまです」などの口上がいえますか？テレビをつけない時間がありますか？…、大人とは何でしょう。この本では、「身体の発達段階」と「習得した技能」に分けて76項目・100点満点の大人認定試験を受けることができます。さてさて、あなたには太鼓判がつくでしょうか？是非お試しください。

川柳「燃える」

選:中和川柳会　由井けんじさん
10月号の兼題は「いも（芋）」

七〇を過ぎてもルンルン燃えてます　稲岡雅子
燃えつきぬ間にする事の多いこと　菊池俊男
半夏生真赤な夕日が燃えて暮れ　大森喜久恵
八十路坂まだ燃える血がある不思議　国米きくゑ
懐かしの古着燃やして年重ね　角田好子
きらわれる虫にも燃える恋がある　松尾千恵子
誰のため燃えて咲くのか彼岸花　河島貞子
逢えばまた燃える火種をもっている　船津浩子
老人会燃えた昔の花さかせ　樋口重雄
老いも春ゆっくり燃えて苗仕度　曽利幸子
ライバルと燃えた思い出古日記　若田万寿子
燃えさせて浮気な蝶がすぐ帰り　妹尾重美
発車ベル燃える言葉を積み残こす　寺澤敏栄
金婚夫婦残り火燃やす夢を見る　阿部幸子
燃えるもの抱いて無人の駅を発つ　田中久栄
今日もまた生きよと仏の灯が燃える　狩谷博子
燃え上り暮して見たがさほどでも　植田万里子

〈軸吟〉やせる気が脂肪より先燃えつきる　けんじ

上本郷西原久世神代月田勝山後谷見尾上市瀬落合垂水下河内三田落合垂水久世社月田

MANIWA NO SUN

まにわの産地消

⑬

ニューピオーネ

お話　JAびほくピオーネ部会
森岡　操さん

ピオーネの房を我が子のように見つめ、ひと房づつ丁寧に手入れする森岡さん夫婦。タバコ栽培から転換し、不安いっぱいで始めたピオーネ栽培も、北房の地には適地適作だったと笑顔で話されます。初めて房が色づいた時の感動は今でも忘れられないそうです。

真庭市で栽培されているニューピオーネ（以下、ピオーネ）といえば、皆さんご存知の通り、紫黒色の大粒品種で、皮離れがよく、食べごたえのある果肉、糖度も高く、そして種なしというのが特徴です。さらに、昼夜の寒暖を利用して甘みを引き出した真庭のピオーネは、市場の評価も高まっています。

北房地域では、昭和61年ごろからタバコの後作として栽培が始まり、平成18年には57戸がピオーネを栽培しています。出荷時期は、平成3年ごろから導入されたハウス栽培の普及で、8月のお盆前には出荷できるようになりました。

市内全域でもピオーネは盛んに栽培され、蒜山地域ではハウス栽培により11月ごろまで出荷されています。このように8月～11月までの長期間にわたりピオーネが楽しめるのは、真庭市ならではといえます。

最近では、定年退職後の就農者や、女性就農者も増え、仲間同士の交流も盛んに行われていて、ピオーネを栽培する地域がとても元気で活気を感じています。

今年もいよいよ収穫の時期がやってきました。たくさんのお客さんの喜ぶ顔が見られることを楽しみにしています。

小学生の農業体験

森岡さんのほ場では、昨年から、地元水田小学校児童による農業体験が行われています。なかなか体験できない作業も、森岡さんの好意により実現。県の農業士でもある森岡さんは以前からこのような体験活動の受け入れを行っています。

研鑽に栄誉（敬称略）

※このページでは、市内で受賞・出場をされた皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただいています。情報をお寄せください。

■総務大臣感謝状
　行政相談員として長年ご活躍いただき、３月末をもって退職された方に総務大臣から感謝状が贈られました。

◀生田　昇（上中津井）

廣岡勇雄▶（中）

■JBANコンベンション
6/5～7　東京都
フリースタイルスカルプチャー部門ベストデザイン賞、バルーンディスプレイ大賞　**野村昌子（久世）▶**

■第41回全国建具展示会
6/8～10　富山県
富山テレビ放送社長賞―**木製スーパーカー「真庭」（佐田建美）**

■平成19年度公立学校優良施設表彰
㈳文教施設協会賞－うるおいのある教育施設部門賞―**真庭市立美甘小学校（校舎）**

■第54回全国高等学校総合体育大会出場者
7/28～8/9　佐賀県

○岡山県高等学校総合体育大会　5/25～6/17

剣道　男子個人２位－**◀牧本一訓（余野上）**
女子個人2位―**田村未紀（久世）▶**

ハンドボール女子優勝―玉野光南学校
市内出場者
◀吉田亜由（福田）
楢本由美（西河内）▶

ソフトテニス女子個人ベスト８―**大武　彩（落合垂水）▶**

ソフトボール女子優勝―津山商業学校
市内出場者
◀山﨑愛子（栗原）

バレーボール女子優勝―就実高校
市内出場者　**赤木かおり（目木）▶**

○鳥取県高等学校総合体育大会　6/3
ソフトテニス女子個人５位―**黒田紘江（中）▶**

○中国地区高等学校総合体育大会　6/15～17
陸上男子800㍍走２位―**◀大柳拓也（上水田）**

■第23回全国小学生陸上競技交流大会岡山県予選会
6/9　津山市
ソフトボール投げ優勝―**大西真人▶（下中津井）**

80㍍ハードル優勝―**◀古瀬貴史（久世）**
第23回全国小学生陸上競技交流大会出場　7/26～28　大阪府

■全日本中学・高校選手権岡山予選大会　5/6 岡山市　中学生男子の部２位―**谷口周平（上河内）**
第31回全日本中学ボウリング選手権大会
7/26～28　京都府

■第33回岡山県空手道選手権大会
5/13　浅口市　小学生の部組手２位―**戸田海人（久世）▶**

第50回小学生・中学生空手道選手権大会出場　8/4～5　宮城県

■第55回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会
ホームプロジェクトの部出場　8/2～8/3　愛知県
久世高校家庭クラブ　左から井上智美、上島理里、杉山真美、西田美貴、田中好日

■第13回日本電動車椅子サッカー選手権中国ブロック予選大会　5/27
広島県　４位―ホワイトアイアンボニーズFC岡山　市内出場者
杉井信和（勝山）　第９回日本電動車椅子サッカーブロック選抜大会出場　8/12　香川県

■2007岡山県綱引選手権大会　6/17　真庭市　ライト・ミドル級優勝―**月田金太郎綱引クラブ**
2007おおさかシティ全日本選抜綱引大会　出場
8/26　大阪府

■第20回スポレクあおもり2007岡山県予選会
6/5　浅口市
２位―**美甘ゲートボールチーム**
第20回スポレクあおもり2007大会出場　9/22～24　青森県

●第27回全日本小学生バレーボール岡山県大会
6/24　赤磐市　２位　**落合ジュニアバレーボールスポーツ少年団**　中国大会出場　8/4～5　広島県

●ダイワ鮎マスターズ2007中国地区大会　6/21
鳥取県　８位　**横辺浩樹（下湯原）**　西日本大会出場　7/29　岐阜県

田園一面の炎に酔いしれる

年男・年女となる上水田小学校6年生が点火のお手伝い

火の元「ダンゴ」を作る郷親会

郡神社（上水田）に伝わる夏の風物詩「火まつり」が7月16日に行われました。稲につく害虫を駆除して、豊作を祈るため、田んぼの畦道で火をたいたのが由来。地域奉仕と郷土愛から昭和58年、地元青年の集まりである「上水田郷親会」が神社の夏まつりに合わせて「火まつり」として復活させました。辺りが暗くなると、年男、年女に当たる6年生の子どもたちが、本殿の灯明から採火した火を一斉に点火。目の前に広がる田園を覆うように置かれた約千個の「ダンゴ」に徐々に炎が灯っていく様子は、幻想的で観るものを魅了しました。

火災の早期発見を

真庭市内の自主防災組織の先駆けとして積極的な活動を続けている「開田自主防災会」が、7月15日、新たな取り組みとして住宅用火災警報器の配布・設置を行いました。これは消防法の改正により、2011年5月末までに既存住宅への警報機設置が義務付けられたことによるもので、共同購入したのは、地区内の早期設置と操作方法などの意識統一が狙いです。当日はメンバーら約10人が、同地区の約100世帯に住宅用火災警報器を配布。また、依頼のあった世帯については取り付けも行いました。

間取りなどを考慮し、取り付けを行うメンバー

湯原温泉郷の11の湯が一堂に会しました

露天風呂に感謝を込めて

湯原温泉郷で6月26日、「露天風呂の日」感謝祭が行われ約5千人の観光客でにぎわいました。6・26の語呂あわせで地元旅館組合や観光協会からなる実行委員会が昭和62年から毎年6月26日に開催しているイベントです。早朝6時26分に行われる「お湯取りの儀」を皮切りに、露天風呂の清掃や園児の鼓笛演奏、道沿いには出店が並び、和太鼓やチンドン屋がイベントを盛り上げました。メインイベントの「温泉感謝の集い」では、自然の恵みの温泉に感謝し、入浴の安全を祈りました。お客さんへ感謝を込めて、旅館の内湯を無料開放。人気のお風呂に列をつくる姿も見られるなど、一日中多彩な催しを楽しみました。

6/24 心静かに初夏を味わう

旧勝山藩主三浦邸（岡）で、お茶会が開催されました。庭園では深緑の木々に色鮮やかなアジサイが花を咲かせており、参加者らは目で、舌で、初夏の風情を味わっていました。

7/7 商店街が天の川のように輝く

七夕まつりが久世地区の上・中・下町商店街で開催。地域の皆さんによって取り付けられた色とりどりの七夕飾りの間を大勢の見物客らが流れる様子は、まさに七夕の日の天の川のようでした。

7/11 100歳おめでとうございます

蒜山吉田の中口ちよさんが、7月16日、100歳を迎えられました。農業が大好きだったそうで、「太陽の下で体を動かしてきたので、ここまで健康でいられたのでは」とは息子さんの談です。

7/15 嵐の津黒を走り抜けた

津黒里山の道マラソン大会が開催されました。当日は雨風降りしきる荒れた天気となりましたが、選手らは次々と完走。走り終わった後は、津黒の温泉が体を温め、疲れを癒したようです。

7/22 湯原の特産品を求めて

下湯原温泉夏まつりが、湯原ひまわり館で開催され、そばの早食い競争などで盛り上がりました。テントでは地元特産品の青大豆を使った豆腐を販売。買い求める客らが行列をつくっていました。

600年の伝統を今に伝える

展示品に見入る来場者ら

川上地区で栄え、600年の歴史を刻んだ郷原漆器。この漆器と製作道具が、今年3月に県内初となる国の有形民俗文化財に登録されたのを記念し、「郷原漆器　その歴史と製作道具」と題された展示が7月3日、蒜山郷土博物館（蒜山上長田）で始まりました。これに合わせ、8日には木地師の高月国光さんらによる、これまでの歩みと復興後の漆器についての講演会も開かれました。この展示は8月5日(日)まで行われ、8月7日(火)からは会場を真庭市立勝山郷土資料館に移し、9月2日(日)まで展示されます。

若木を切らないよう、慎重な作業が続きました

「守りたい」で早10年

7月6日、勝山美しい森（菅谷）で、真庭美しい森林づくりの会主催の下刈作業が行われました。「大切な森を守ろう」という呼びかけで始まったこの会も今回で10回目。当日はボランティアとして市内外から34人が参加し、かまや刈り払い機などを手に生い茂った雑草を刈り取っていきました。同会の小林寿満夫代表は、「若木が成長すれば下刈りも徐々に必要なくなる。これからもこの取り組みを続け、次の代につないでいきたい」と話していました。

広報まにわ8月号
平成19年8月1日発行（通巻28号）
■発行　真庭市役所　■編集　総務部秘書広報課
■秘書広報課　Eメール　hisho@city.maniwa.lg.jp
〒717-0013 岡山県真庭市勝山53-1　TEL 0867-44-2613
ホームページ　http://www.city.maniwa.lg.jp

観光回廊まにわ真庭

今回は蒜山高原のジャージー牛を紹介

問い合わせ先　蒜山振興局総務振興課　TEL0867-66-2511

県屋外広告コンクールで金賞をとった「ジャージー牛ふれあい広場」の看板。ふれあい広場は三木ヶ原（蒜山上福田）の酪農大学校前にあります。

朝鍋牧場（蒜山上徳山）から眺めたジャージー牛と蒜山三座

蒜山に向かうジャージー牛を満載したトラックの列（勝山の岡地区：昭和34年）

つぶらな瞳にほっそりとした顔が愛らしいジャージー牛は、生まれはイギリスのジャージー島。ホルスタイン種より小型で人なつっこい性格です。栄養価が高く濃厚なその牛乳は、英国王室の人々にも愛されたとか。このジャージー牛がニュージーランドを経て、蒜山にやってきたのは昭和29年(1954)。山間部での酪農に適したジャージー牛と蒜山高原の相性はピッタリだったようです。

現在、日本で飼育されているジャージー牛の約1/4が蒜山三座のふもとで、すくすくと育っています。牧歌的な雰囲気漂う蒜山高原に、ジャージー牛へ会いに出かけてみてはいかがですか。

ジャージーにふれあう

ひるぜんジャージーランドではチーズやヨーグルトの製造工程も見学できます。また、団体で申し込めば搾乳体験、アイスクリーム作り体験（要予約）をすることができます。　問 蒜山酪農農業協同組合　生産課　TEL0867-66-4432

編集後記
まにわがスキッ!!

４年前、木村さんが先生を辞めたとき、何が彼女を農業へ導かせたのか知る由もありませんでした。当時農業においては同じ境遇の自分。両親が元気だからこそ、家の農業は成り立っているのかもしれません。　福

隣の佳君のおかげか？４月以降すくすく横に成長中。ブートキャンプに入隊しても、２日で除隊の根性なし。でも秋までにBMI22が目標です。９月号読者の広場で健康の話を募集中。減量の話がないかな。　辰

農業は個々がプロでそれぞれ形があり、今回の特集は良し悪しを語るものではありません。ただ、未だ広く知られていない少数な取り組みもあります。少しでも多くの方に関心を持っていただければ幸いです。　佳

PRINTED WITH SOY INK　この広報紙は、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
R100　古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。
この印刷の一部には、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。